

令和元（2019）年12月

軽自動車新車販売速報

令和2（2020）年1月6日

一般社団法人 全国軽自動車協会連合会

全国軽自動車協会連合会（会長：堀井仁，略称：全軽自協）の調べによる令和元（2019）年12月の軽自動車新車販売台数（新車新規検査台数，トレーラー等を除くナンバーベース）は，全体で117,924台，前年同月比13.7%減となり，3ヵ月連続のマイナスとなりました。

車種別では，乗用車が89,513台で前年同月比14.4%減（3ヵ月連続減），貨物車が28,411台で同11.6%減（3ヵ月連続減）。貨物車の内訳は，ボンネットバンが2,775台で前年同月比34.1%減（4ヵ月連続減），キャブオーバーバンが12,970台で同4.8%減（3ヵ月連続減），トラックが12,666台で同11.4%減（3ヵ月連続減）となっています。

この結果，平成31・令和元（2019）年の年間新車販売台数は1,910,346台，前年比0.7%減となり，3年ぶりのマイナスとなりました。

年間販売台数の内訳は，乗用車が1,479,205台，前年比1.1%減（3年ぶり減），貨物車は431,141台で同0.6%増（3年連続増）。貨物車の内訳は，ボンネットバン52,543台で同55.0%増（2年連続増），キャブオーバーバン196,034台で同6.1%減（4年ぶり減），トラック182,564台で同1.7%減（3年ぶり減）となっています。